



インプラントの専用ルームを設け、一人平均30~60分の時間をかけ治療する

医療法人たなか歯科は、このほど、歯科用のCT検査装置を導入した。X線撮影機器と異なり、三次元画像で歯や歯茎、骨の状態が解り、同院が得意とするインプラントや矯正などの治療がさらに的確にできると。同院は医師3人、歯科衛生士8人、受付を含めたスタッフ数は13人を誇り、県西部地区や備後地区をエリアにした歯科医院では最大規模として知名度も高い。田中院長に新機種の導入動機や特長、今後の展望などを聞いた。

「導入したCT検査装置について

〔株〕モリタ製作所（京都府）製の「ペラビューエポックス3D」

で岡山大学病院が同じ機種を

今年4月に導入した。岡山県西

部、備後地区では初めての導入だ。専用のノフトを使い、パソコン画面で歯や歯茎の三次元デジタル画像を確認でき、インプラントや矯正、抜歯治療などに有効。胸部レントゲンに比べ、100分の1の被爆量というのも特長に挙げられる。私自身、歯科医師の勉強会に積極的に参加しており、必要性を感じ、導入に踏み切った」

「たなか歯科の概要、特長を「大阪府堺市のインプラントの権威、飯田歯科勤務を経て、8年前に開院した。診察台7台、歯科医師は私を含め3人、歯科衛生士は8人です。インフォームドコンセントに基づき、的確な治療を行い、開院以来笠岡市や井原市、浅口市、福山市などから患者がある。院内はバリアフリー仕様で、インプラントの専用ルームを設け、一人平均30~60分の時間をかけ治療することも特長だ」

「同院はインプラント治療の評価が高く、ほかに審美や虫歯などの一般歯科にも定評がある

「EBMやカウンセリング、インフォームドコンセント、予防歯科、包括的治療は患者様の視点に立ち、治療を行っていることが評価理由に挙げられる。インプラントや矯正治療の患者が多いが、予防歯科にも力を入れる

れ、特に院内のデジタル化にも注力している。今回の歯科用CTの導入でインプラントや矯正、歯周病や顎関節、埋伏歯などを多角的に観察や精査、診断

する機器など、地域では先駆的と言われている。スタッフ教育にも力を入れ、マナー講座受講でコミュニケーション能力や技術力向上のため、勉強会にも積極的に参加させている。これからもスタッフ一丸となり、地域医療に貢献したい」

「CT検査装置以外にもさまざまな最新治療器を導入してさまざまな最新治療器を導入しているが

「口臭測定装置や歯の色を計測する機器など、地域では先駆的と言われている。スタッフ教育でコミュニケーション能力や技術力向上のため、勉強会にも積極的に参加させている。これ

からもスタッフ一丸となり、地域医療に貢献したい」

インプラントや矯正治療に威力 スタッフ教育などのソフト面も強化

医療法人たなか歯科 理事長 院長

田中賢治さん (37)

たなかけんじ



曜日休診。

▽田中賢治 1972年7月

13日生まれ。笠岡市出身。県立

笠岡高校、岡山大学歯学部卒業。大阪府堺市の飯田歯科勤務を経て、2001年、出身地に

開院した。翌年12月には医療法人にした。趣味は読書。好きな言葉は「勉強」。